

2012年10月5日  
株式会社エイチアイ

**ブラザー工業のスキャナー「ジャスティオ ADS-2500W」に  
エイチアイの UI 開発ソリューション「UI フレームワーク」「タンジブレット」が採用  
～ドキュメントスキャナー領域【初】搭載！～**

株式会社エイチアイ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:川端一生、以下、エイチアイ)は、本日、ブラザー工業株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:小池 利和、以下、ブラザー工業)より発売されるドキュメントスキャナー「JUSTIO (以下、ジャスティオ) ADS-2500W」に、エイチアイの2D/3Dユーザーインターフェース(UI)開発ソリューション「マスコットカプセル UIフレームワーク (MascotCapsule® UI Framework 以下、UIフレームワーク)」および「マスコットカプセル タンジブレット (MascotCapsule Tangible™ 以下、タンジブレット)」が採用されたことを発表いたします。

<ブラザー工業:ドキュメントスキャナーJUSTIO(ジャスティオ)ADS-2500W>



UIフレームワークは、2D/3Dグラフィックスの性能が限られた低スペックの組込み機器から、3Dグラフィックスアクセラレータを搭載するハイスペックの組込み機器まで、デバイスを問わず高速で表現力豊かな2D/3DUIの開発を容易にするソリューションです。

本ソリューションには、PC上でGUI\*を制作することができるオーサリングツールが用意されており、プログラミング知識のないデザイナーでもイメージ通りのUIデザインを容易に開発することが可能です。そのため、デザイナーとプログラマーの間で手戻り作業が多発しがちな画面レイアウトの微調整などの開発プロセスも円滑に進み、開発負担の軽減に貢献するとともに工数削減も期待できます。

さらに本ソリューションは、スピーディーでスムーズなグラフィックス描画が可能なため、他製品とUIの差別化を図る表現力の向上に貢献しております。

今回の採用機種において、描画部分は全て本ソリューションのみで実現しており、従来のメニュー画面になかった演出効果(画面遷移時のスライドイン、アウト。フェードイン、アウトなどの演出)を加えるこ

とによって、ユーザーエクスペリエンス\*の向上に貢献しております。

タンジブレットは、タッチパネルを備えた電子機器製品の操作において、従来の画面を操作する感覚に代わり、実在する物質を直接操作することで情報へのアクセスを提供するインターフェース「Tangible User Interface(タンジブルユーザーインターフェース)」で得られるような慣性運動をソフトウェアで再現するミドルウェアです。

タッチパネルで対象オブジェクト(メニューアイコンなど)に触れると、放す際の力の大きさに比例した加速度を本ミドルウェアが割り出し、強く放した際には早く、弱く放した際にはゆっくりスクロールされるなど、実際の運動の法則に近い使用感を実現することができます。これにより、デバイスの付加価値となる操作時の演出効果をさらに向上することができます。

今回、ジャスティオ ADS-2500W のタッチパネル部分において、この慣性機能をご活用いただきしており、UI フレームワークとの組み合わせによって、メニュー画面の機能面および操作面の向上に貢献しております。



エイチアイは、今後もタンジブレットおよび UI フレームワークのドキュメントスキャナー領域での採用拡大に向けて、マーケティングおよびサポートに注力してまいります。

\*MascotCapsule は、エイチアイの日本における登録商標です。

\*その他の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

\*GUIは、グラフィカルユーザーインターフェース(Graphical User Interface)の略です。

\*ユーザーエクスペリエンスは、ある製品やサービスを利用したり、消費した時に得られる体験や満足度など全体を指す用語です。